



表現活動を通じたコミュニケーション教育 学びの集大成
追手門学院高等学校 表現コミュニケーションコース 卒業公演

追手門学院中・高等学校（大阪府茨木市、校長：原田 哲次）は、演劇やダンス等の表現活動を活用したコミュニケーション教育により「人と人とのつながりを生み出すことができる人材」の育成を目指す「表現コミュニケーションコース」を設けており、この度、その第2期生による卒業公演「甘えの構造」を、6月23日（金）から3日間開催します。

この公演は、生徒が1年生から学んだ表現の基礎や、身体を使ってのコミュニケーションを土台とし、国際的に活躍するプロの演出家 小野寺修二氏が演出します。答えを定義づけることが難しい「表現」によるコミュニケーションについて、マイムや舞踊を軸に生徒それぞれが考える表現についてのピースをつなぎ合わせ、3年間の学びの集大成として舞台の上で披露します。

小野寺氏が高校生との作品創作をするのは、今回の公演が初めての試みとなります。

報道関係の皆様におかれましては、この公演の告知と、当日の様態を取材いただければ幸いです。

1. 公演名：追手門学院高校 表現コミュニケーションコース 2期生 卒業公演

2. スケジュール：

①6月23日（金）・24日（土） 19:00 開演（開場 18:30）

②6月25日（日） 13:00 開演（開場 12:30）

※上演時間 55 分を予定（途中休憩なし）

3. 料金：無料（要予約）

4. 出演：追手門学院高校 表現コミュニケーションコース
2期生 11名



5. 会場：一心寺シアター倶楽（大阪市天王寺区逢阪2-6-13 B1F）

JR・地下鉄各線「天王寺駅」、地下鉄堺筋線「恵美須町駅」、

地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」 ※それぞれ駅出口より徒歩8分

6. 作・演出：小野寺 修二

・カンパニーデラシネラ主催

・2010年第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞

・2013年瀬戸内国際芸術祭にて、野外劇『人魚姫』を発表

・2015年度文化庁文化交流使。



【小野寺 修二氏】

7. 追手門学院高等学校【表現コミュニケーションコース】とは

これまで日本の学校教育が取り組んでこなかった「コミュニケーション力＝人間関係形成力」を授業で学ぶ先進的な教育プログラム。2014年度に新設し、演劇とダンスの表現科目を通常の授業に取り入れた「コミュニケーション教育」を行っている。さまざまな表現活動を通して、技術の修得だけでなく「人と人とのつながりを生み出すことができる人材」の育成を目標にしています。

表現コミュニケーションコースホームページ：<http://otemon-course-hyogen.jimdo.com/>

この資料の配付先：大阪科学大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内